



東証JASDAQ上場

証券コード：4336

CRIE
クリエアナブキ

第28期 年次報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

CRIE
クリエアナブキ

Our Mission

人間の可能性を最大限に開発し、働く人と企業との間に立って、雇用機会の拡大をめざす。クリエは発足以来、これを最大の使命と考えてきました。今後は、ヒューマンリソースに関するコンサルティングサービスを核とした、よりハイレベルなビジネスを次々に展開していきたいと考えております。

Mission

CRIEは人が「活かされ」「生きる」をコーディネートします

私たちがいつも考えていることは、「事業を通じて関わっていくすべての人やお客様が、よりよく生きるために何ができるのだろうか」ということです。私たちは、このテーマに基づいて、機会を創り出すことと、価値を生み出すことに意味をおいています。

人が「活かされ」「生きる」を考え続け、一歩ずつ近づいていきたい、それが私たちにできる貢献ではないかと考えます。

Vision

CRIEは提供するサービスにおいて国内最高のクオリティをめざします

私たちがめざしているところ、それは「提供するサービスクオリティの高さで評価をいただく」ことです。

そのためには、私たち自身のヒューマンクオリティを最大化し、そこから生まれるサービスで、お客様から常に支持される、そんな存在になってはじめて可能になると考えています。

Value

私たちには大切にしているものがあります

クオリティとスピード

われわれが提供するサービスの本質は、クオリティとスピードである。クオリティは安心をもたらす、スピードは価値を生み出す。

Think Win-Win

永続的な信頼関係を作り上げる唯一の方法は、Win-Winを考えることである。われわれは常に正直かつ誠実に向き合う。

三つの勇気

革新し続けるためには、「自己を否定する、リスクに挑戦する、責任を取る」この三つの勇気が必要である。その決意があってはじめて革新への前進が始まる。

楽しさと感動

本物の楽しさや感動は、プロフェッショナルな仕事の中から生まれる。われわれはそれを共有する文化を大切にします。

目的共有体

仕事は、主体的な参加である。われわれは自らの意思により目的を共有する存在である。

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、第28期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の報告書をお届けいたしますので、よろしくご高覧ください。

当期の業績は、3期連続の減益に終わりました。しかも、上場後初めて、営業利益の段階で損失を計上する大変厳しい決算となりました。

しかし、その原因は、主力の人材派遣事業の不振に尽きるといえます。派遣以外の事業は概ね好調に推移しており、経費もリーマン・ショック前の8割の水準まで削減できております。派遣売上さえ回復すれば、業績も自ずと改善するであろうことに疑いの余地はありません。

翻って派遣市場を取り巻く環境を見てみますと、景気の緩やかな回復を受けて、雇用情勢は着実に改善しております。さらに、旧政権下での専門26業務派遣適正化プランの実施以降、派遣業界を悩ませてきた派遣労働者の受入れ期間制限が、来春の制度改正で事実上なくなる見込みです。企業の派遣需要が増加し、市場が再び成長を始めることを期待できる環境が整ってきました。

当社グループでは、このような状況の下、強みを有する四国に戦力を集中し、四国重視の営業方針を徹底することで、市場の追い風を活かし、業績の早期改善を実現してまいります。

今年の通常国会の施政方針演説の中で、安倍首相は「日本の中に眠る、ありとあらゆる『可能性』を開花させる」ことが新たな国づくりだと語りました。当社グループは、女性や若者、高齢者といった日本に眠る雇用の『可能性』を一つ一つ開花させていくことを通して、新たな国づくりに貢献していきたいと考えております。そして、それは、当社グループの総合人材サービス会社としての『可能性』を大きく開花させるチャンスでもあると信じております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年6月



代表取締役社長 藏田 徹

事業の状況

当期のわが国経済は、海外景気の底堅さや円安を背景に、輸出が持ち直し傾向で推移し、設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、景気が緩やかに回復しつつあります。

人材サービス業界では、企業の業況判断の改善から、新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇するなど、雇用情勢が改善してきております。

このような経営環境の中にあって、当社グループは、①人材派遣事業の再活性化、②アウトソーシング事業の収益改善、③人材紹介事業、医療関連人材サービスの売上拡大の3点を当期の目標に掲げ、持続的な成長に向けた収益力の強化に取り組んできました。

以上の結果、当期における当社グループの業績は、主力の人材派遣事業の不振が響き、売上高6,343,636千円（前期比91.7%）、営業損失2,692千円（前期は42,584千円の営業利益）、経常利益2,466千円（前期比5.7%）、当期純損失8,242千円（前期は23,976千円の当期純利益）となりました。

各事業部門の業績は、次のとおりであります。

人材派遣

当事業の売上高は3,715,240千円（前期比81.1%）となりました。

当社グループでは、先般の労働者派遣法改正（平成24年10月施行）で登録型派遣の原則禁止が見送られたことを踏まえ、継続的かつ安定的な収益源である当事業の再活性化をめざしております。しかし、旧政権下の専門26業務派遣適正化プランに従って期間制限がある自由化業務に切り替えた派遣契約に関し、期間満了による終了が続いた結果、新規契約数の回復傾向に反して、前期実績を2割ほど下回りました。

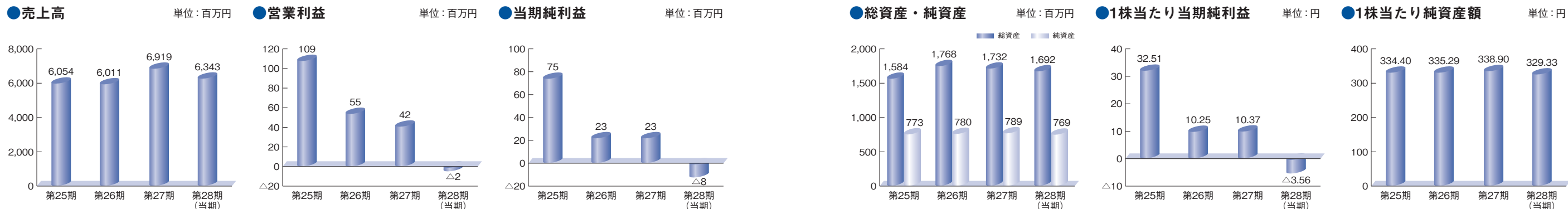
アウトソーシング

当事業の売上高は2,248,934千円（前期比111.4%）となりました。

物流関連アウトソーシング事業を営む株式会社クリエ・ロジプラスにおいて、消費税増税前の駆け込み需要の影響により取引先からの受注が期末にかけて急増したことなどから、売上が増加しました。

なお、当社において、経済産業省が所管する全国中小企業団体中央会から、主婦層の雇用促進を柱とした「中小企業新戦力発掘プロジェクトコーディネーター等事業」を平成25年4月に受託するなど、公共性の高い案件にも積極的に取り組みました。

経営指標の推移（連結）



(注) 第26期において普通株式1株につき100株の割合をもって株式の分割を行いました。第25期の期首に当該株式の分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産額」を算定しております。

人材紹介

当事業の売上高は150,210千円（前期比112.8%）となりました。

前期に引き続き、従来より幅広い層における求人の開拓、求職者の確保に努めた結果、全般的に成約件数が増加しました。医療関連人材サービスの分野に関しても、看護師の転職・復職の紹介実績が積み上がってきております。

再就職支援

当事業の売上高は21,879千円（前期比128.7%）となりました。

景気悪化局面で需要が急増する特性を持つ当事業については、四国地域を中心に地道な営業活動を展開した結果、大型案件の受注があり、前期実績を上回りました。

IT関連

当事業の売上高は152,848千円（前期比115.4%）となりました。

株式会社クリエ・イルミネートが首都圏を中心に提供する研修や教材作成のサービスについては、マイクロソフト社SharePointに関する技術者向けトレーニングが堅調に推移したことなどから、前期実績を上回りました。

その他

研修・測定サービスなど、上記の各事業部門に含まれない事業の売上高は、合計で54,522千円となりました。

経理の状況

●連結貸借対照表

単位：千円

科目	前期 (平成25年3月31日現在)	当期 (平成26年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	1,458,400	1,449,322
現金及び預金	694,418	694,121
売掛金	693,215	684,706
仕掛品	37	279
原材料及び貯蔵品	2,673	1,181
前払費用	25,952	26,003
繰延税金資産	26,677	41,369
その他	17,144	3,095
貸倒引当金	△ 1,717	△ 1,435
固定資産	273,827	243,348
(有形固定資産)	(28,567)	(19,214)
建物	14,918	10,838
工具、器具及び備品	13,485	8,212
その他	163	163
(無形固定資産)	(124,962)	(95,783)
のれん	98,276	68,716
ソフトウェア	22,354	22,835
電話加入権	4,188	4,188
その他	143	42
(投資その他の資産)	(120,297)	(128,350)
投資有価証券	1,727	9,357
繰延税金資産	19,729	22,480
差入保証金	95,842	95,083
その他	2,998	1,428
資産合計	1,732,228	1,692,670

科目	前期 (平成25年3月31日現在)	当期 (平成26年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	822,540	693,867
短期借入金	18,000	26,000
1年内返済予定の長期借入金	22,800	39,464
未払金	86,450	71,933
未払費用	465,776	428,687
未払消費税等	90,712	48,606
未払法人税等	30,836	9,159
預り金	45,246	10,598
賞与引当金	51,502	54,292
その他	11,215	5,124
固定負債	119,735	229,548
長期借入金	65,500	167,704
退職給付引当金	54,235	—
退職給付に係る負債	—	61,844
負債合計	942,276	923,415
【純資産の部】		
株主資本	783,587	761,469
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	434,514	412,396
自己株式	△ 6,646	△ 6,646
その他の包括利益累計額	147	131
その他有価証券評価差額金	147	131
少数株主持分	6,216	7,654
純資産合計	789,952	769,254
負債純資産合計	1,732,228	1,692,670

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書（要旨）

単位：千円

科目	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	6,919,435	6,343,636
売上原価	5,660,648	5,168,887
売上総利益	1,258,786	1,174,748
販売費及び一般管理費	1,216,202	1,177,441
営業利益又は営業損失(△)	42,584	△ 2,692
営業外収益	3,754	8,563
営業外費用	2,906	3,404
経常利益	43,431	2,466
特別利益	4,845	—
特別損失	711	3,969
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	47,565	△ 1,503
法人税、住民税及び事業税	33,528	22,736
法人税等調整額	△ 11,445	△ 17,434
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	25,483	△ 6,805
少数株主利益	1,506	1,437
当期純利益又は当期純損失(△)	23,976	△ 8,242

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

科目	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	234,813	△ 106,695
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 15,808	△ 14,919
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 65,269	112,975
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	153,734	△ 8,638
現金及び現金同等物 の期首残高	550,025	703,760
現金及び現金同等物 の期末残高	703,760	695,121

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●ホームページのご案内●

当社ホームページには、事業内容のほか、株主・投資家の皆様向けの最新IR情報を掲載しております。どうぞご利用ください。



<http://www.crie.co.jp/>

会社の状況

●会社概要（平成26年3月31日現在）

商号 株式会社クリエアナブキ

本店 香川県高松市鍛冶屋町7番地12

設立年月日 昭和61年（1986年）4月11日

資本金 2億4,340万円

従業員数 119名
(男性63名、女性56名)

主要な事業内容 人材派遣
アウトソーシング
人材紹介
再就職支援
組織人事コンサルティング
研修・測定サービス

連結子会社 株式会社クリエ・ロジプラス
株式会社クリエ・イルミネート

●役員（平成26年6月19日現在）

取締役会長 穴吹 忠嗣
代表取締役社長 藏田 徹
取締役 上口 裕司
取締役 北村 ひとみ
取締役 大谷 佳久
常勤監査役 福田 清之
監査役 柳瀬 治夫
監査役 桑島 美恵子

(注) 監査役柳瀬治夫及び桑島美恵子は社外監査役であります。

●主要な事業所（平成26年6月19日現在）



株式の状況

●株式の状況（平成26年3月31日現在）

発行可能株式総数 9,000,000株

発行済株式の総数 2,340,000株
(自己株式27,400株を含む。)

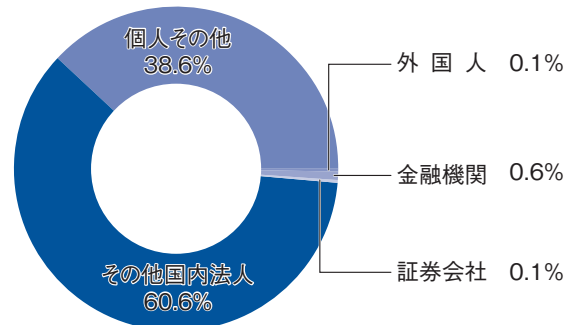
株主数 630名

大株主（上位10名）

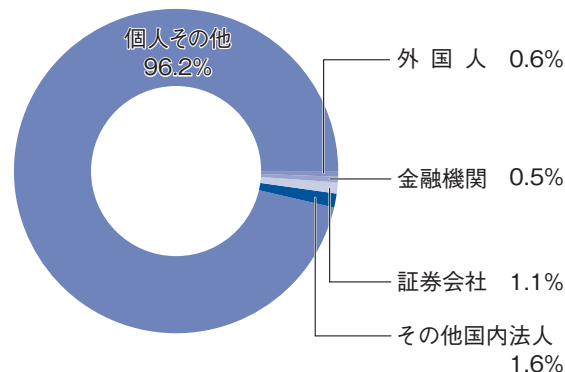
株主名	持株数	持株比率
穴吹興産(株)	1,323,500株	57.2%
藏田徹	228,700株	9.9%
クリエアナブキ従業員持株会	124,300株	5.4%
(株)穴吹ハウジングサービス	65,500株	2.8%
島津実義	61,000株	2.6%
穴吹忠嗣	48,000株	2.1%
深谷泰平	31,000株	1.3%
上口裕司	29,000株	1.3%
山下博	21,000株	0.9%
北中壽一	20,000株	0.9%

(注) 持株比率は、自己株式（27,400株）を控除して計算しております。

●株式数比率（平成26年3月31日現在）



●株主数比率（平成26年3月31日現在）



株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	毎年6月
●基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日（但し、中間配当を行う場合）
●株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
●郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ●单元未満株式の買取請求 ●届出住所・氏名などのご変更 ●配当金の受取方法のご指定 	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none"> ●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

※ 配当金計算書について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。但し、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなさる株主様は大切に保管ください。